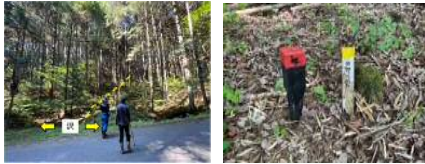


下山地域会議 諮問答申について

1 検討経過(令和5年度)

	4月	5月	6月	7月	8月
諮問		森林の 現地調査	グループワーク 問題の洗い出し	グループワーク 問題の選定	まとめ



▲ 5月 森林現地調査の様子



▲ グループワークの様子

2 主な意見

他の所有者の森のことを知りたい、山主同士で森を見る機会が欲しい
山の管理は1代では終わらない。子ども・孫まで引き継ぐ必要
間伐事業で収入があることを知らなかった。木材の価値が低く利益にならないという認識
森林の魅力や価値をもっと伝えるべき (キノコや山菜の利用、炭焼き、キャンプ場、森林療法、山作業の楽しさ等)
適切に管理しないことによるリスクをもっと啓発するべき
森林について知らないことばかり、相談できる場所がほしい
所有者が個人で林業や森林を管理することは難しい
森林管理を委託しやすい仕組みづくりを進めるべき
鹿などの獣害は深刻。所有者が対応するのは限界がある

3 答申内容のポイント

1 森林所有者の山離れへの対応策	
(1) 森林所有者が森を見て学ぶ機会	
現状	森林に無関心の所有者、自分の森にしばらく行っていない所有者の増加。山離れの進行
対策	森林所有者がお互いの所有林を見て話し合う現地検討会を開催
ポイント	広報やHPの募集では参加者数が限られるため、自治区等と連携して森林所有者の参加を促す
(2) 森林の価値を分かりやすくPR	
現状	森林に価値を見出せない所有者や森林を手放したい所有者の増加
対策	●森林の価値を示したパンフレット等を作成し森林所有者等へPR ・人工林の経済的価値(補助制度を用いた間伐事業で所有者還元額の目安、皆伐収入の目安)

	・天然林利用の方法、所有者へのメリット ・水質保全や土砂災害防止などの森林の公益的機能を、根拠データを示して解説
ポイント	長期的(100年単位)な視点で、森林の経済的価値、環境的価値を分かりやすく示し、森林所有者に森林の価値を再認識してもらう

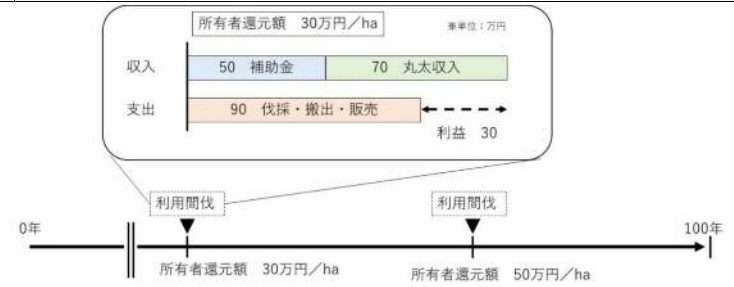


図1 人工林の経済的価値(イメージ)

(3) 森の相談窓口の開設	
現状	森林に関する手続きや役割、制度について知らない所有者の増加
対策	森林所有者が森に関することを相談できる「森の相談窓口」の設置検討 ・所有する人工林・天然林の長期的な管理方針等の決定 ・森林の売買、森林の市への寄付、森林経営管理制度の活用 ・治山事業や支障木伐採などの防災面の対応 ・相続や住所変更などの登記手続き ・森林の固定資産税や相続税などの税金など
ポイント	森林に関する様々なことをワンストップで相談できる窓口にする

2 地域全体での森林の維持管理の方策	
現状	不在村地主や所有面積の小さい所有者等、継続的に森林管理していくことが困難な森林所有者(管理困難所有者)の広がり
対策	管理困難所有者に代わって、市または事業者が森林を管理する仕組み検討 ・手法:森林経営管理制度を用いた市による森林管理、森林組合の長期施業委託契約等による森林管理等 ・対象区域:管理困難所有者がまとまったエリア、災害防止や木材生産の面で重要なエリア等
ポイント	管理代行者(市、森林組合)の実施体制の問題もあるため、対象区域を限定するなど実施可能な内容にする必要がある



図2 森林経営管理制度の概要(林野庁HPより)